

会 議 録

1 会議名	第1回南砺市協働のまちづくり推進会議
2 議題（公開）	1. 委嘱書交付 2. 委員長及び副委員長の選任 3. 南砺市まちづくり基本条例について 4. これまでの取り組みについて 5. 全体スケジュール（案）及び協議内容（案）
3 開催日時	令和元年10月16日（水） 開会時間：午後7時／閉会時間：午後9時10分
4 開催場所	井波コミュニティプラザ「アスモ」2階 大会議室
5 会議出席者	[委員：出席15名／全20名] ※50音順 池田隆司、石渡博、上坂紀子、江田攻、長田正勝、坂本博昭、佐竹弘昭、 竹部俊恵、俵圭子、中山明美、名村桂子、橋爪央樹、林則雄、南眞司、山田政寛 ※欠席委員：磯辺文雄、齋藤優華、能登貴史、長谷川邦子、松本久介 [市：出席7名] 市長 田中幹夫（市長あいさつ後に退席） 事務局 市民協働部担当部長 荒木信人 南砺で暮らしません課長 市川孝弘 〃 協働のまちづくり係長 勇崎香志 〃 〃 主査 早田朱美 〃 〃 主事 影近宏紀 〃 〃 主事 岸川千恵
6 傍聴者	0名
7 会議記録	
(1)委嘱書交付	田中市長より各委員に交付
(2)市長あいさつ	田中市長あいさつ
(3)自己紹介	委員及び事務局より自己紹介
(4)委員長及び副委員長の選任	・委員からの推薦により委員長に 林 則雄委員を選任。 ・委員長からの推薦により副委員長に 江田 攻委員を選任。
(5)協議事項	(1) 南砺市まちづくり基本条例について 【事務局から説明後、質疑応答（次のとおり）】

A 委員：町内会組織のお金の使途状況などがわからない。区長の選任も選挙で選ばれているわけでもない。私のような移住者や若い人だと地域の会議などに参加しにくい。このような小さな組織でもまちづくり基本条例に則った活動となっているか疑問である。条例との齟齬があるのではないか。

委員長：4月から28地域で小規模多機能自治がスタートし、石渡委員が言ったような現状が改善されるよう地域づくり協議会で取り組んでいる。予算などの情報が地域に提供されることは必要なことである。住民全員が参加できるような体制になっているのか？という意味で、まちづくり推進会議の1つのテーマと成り得るのかもしれない。

事務局：まちづくり基本条例第7条にもあるとおり、住民自治組織は住民全員が参加できる体制が必要と記載してある。小規模多機能自治の体制に4月から変わったが地域づくり協議会単位より小さい町内会単位でも組織が変わることは課題でもある。

A 委員：このような町内会単位の話までこの会議で話してもよいのだろうか。地域には、これまで培ってきた伝統があり上手くいっており、それが魅力ある南砺市となっているので、町内会組織の全てを否定しているものではない。

また、この会議は半分が公募委員なので自由な意見交換に期待している。

副委員長：南砺市がどうあるべきか、ということで「まちづくり基本条例」ができた。この条例の運用状況をチェックするためにまちづくり推進会議できた経緯がある。市長の諮問又は市長へ意見述べるために調査、審議することができる。地域にああしなさいという事はできないが、市長へは意見できる。各地域でも取り組み状況に温度差があるので地域の特性をいかに上手く活かすかが重要となってくる。

B 委員：地域差をならしながら、地域の課題を解決できるような体制が必要ではないかと第3期で検討したこともある。人材活用についても提言してきた。

C 委員：小規模多機能自治は、「女性や若者の意見を取り入れる」ことが大事となっているが、若者の部会から問題点や事業等を提案しても区長等からは「判断できない」「自分のときにそんな事はできない」「受け入れできない」と言われる。どこを向けての住民自治になっているのか疑問である。

D 委員：区長は全権限があるわけではない。総会などで総意を得る必要があるという意味で言ったのではないか。

C 委員：常会で諮ってもらえないかと言っても却下されている。そうすると年齢の方との間には、見えない壁を感じる。

委員長：地域の困っているようなことをまちづくり基本条例に関連して市へ意見する事もできる。地域に出向いたり、31地区集まった会議で意見交換をしたり調査することもできる。色々な意見を吸い上げる事ができる開けた会議としたい。

E 委員：区長制は昔からしみついている。まちづくり基本条例ができ、小規模多機能自治に体制が変わったが、女性や若者の意見が聞いてもらえるような支援が必要だと思う。

(2) これまでの取り組みについて

- ・第1期～第3期 これまでの提言内容について
- ・まちづくり人材リストについて
- ・一般社団法人なんと未来支援

【事務局から説明後、質疑応答応答（次のとおり）】

E 委員：各地区の取り組み状況などもまちづくり推進会議へ情報提供してほしい。地域で活動している団体を集めての意見交換など開催してほしい。

なんと未来支援センター定村：今後、情報提供していきたい。みらい支援センターには色々な分野の部会長もいるため、色々な団体を集めての会議も検討したい。

F 委員：この第4期は条例の見直しをすることとなっている。小規模多機能自治は、住民一人ひとりが当事者意識をもって活動することである。まちづくり基本条例はその住民自治を支援するものだが、このまちづくり推進会議がどのように関与するかを考える必要がある。

委員長：条例の見直しが必要ということだが、小規模多機能自治を導入してからの課題を令和元年6月30日までの条例改正に反映できるかはわからないが、この会議の総意で決めていけたらと思う。

事務局：次の議題で条例の見直しがあるので、スケジュールなどを説明させていただきたいと思います。

【事務局から説明後、質疑応答】 質問なし

委員長：条例の見直しの有無なども含めて、皆さん方と協議していきたい。内容については、運営委員会で次の会議へ向けて協議したい。

(参加委員から抱負や地域課題など一言ずつ)

G 委員：継承することは大事。井波旧町部では、区長の在り方や情報公開状況はひどくないが、小規模多機能自治になり変化が大きくて地域も戸惑っている。

H 委員：地域がなんとかならないかという思いで、第3期は参加させていただいた。今回は条例の見直し、小規模多機能自治が上手くいっているかの確認を行いたいと考えている。

I 委員：ほっこり南砺は地域での居場所づくりの活動をしている。女性の活躍、若者の意見を吸い上げることが大事である。地域づくり協議会の一員となればと考えているが協議会には、個人としてはなかなか入れないので、現在作っている女性グループとして参加できないかと思っている。

E 委員：条例ありきではないが、4月から小規模多機能自治になり地域づくり協議会が活動している。活動する上で都合が悪い部分は改善されるようにしてあげたいので、検証が大事だと思う。

C 委員：4月に小規模多機能自治が始まり来年で1年経ち、各地域づくり協議会では課題の検証などを行うと思う。個人的には地域の課題を把握し、条例の見直しや改正を来年6月までするには、スケジュール的に厳しいので、急がなくても良いと思う。

D 委員：自分の北山田地域は、まだ小規模多機能自治に移行していない。運営委員会で毎月検討を行っているところである。組織作りは大体終わり、人選や住民アンケートを検討しているところである。各集落へ小規模多機能自治に変わることを説明しているがなかなか理解は進んでいない。それでも、人口減少が進んでいる現状から、来年4月に小規模多機能自治がスタートできるように活動している。

J 委員：小規模多機能自治は地域の各種団体を巻き込んで構成しているが、その各種団体への加入数が減少してきている。その支援なども必要だと思う。

	<p>A 委員：町内会、地域づくり協議会が何をしているか、積極的に関わっていない方も情報が入る地域づくりが必要だと思う。</p> <p>K 委員：この会議で提言してきた内容から実施したセミナーの OB として今回参加している。南砺市にきて3年経つが、当初はわからないことが多くあったが参加したセミナーや公民館へ行くと、小規模多機能自治の話など伝わってきて、この会議やまちづくり基本条例によって情報が届いているのかと思う。しかし自分の思っている地域活動、住民活動とは違った部分もあり、今は子育てサークル活動をしている。そういった活動が各地域に広がって行けば良いと思う。実際にこの会議で地域へ出向いて意見を聞いたりするのも有効ではないかと思う。</p> <p>B 委員：小規模多機能自治が導入され地域づくり協議会に移行したが、実際に活動している人は本当に趣旨を理解しているのか疑問である。また、協議会の構成員が会長の仲の良い人ばかりだと外の声は届かない体制になってしまう。女性や若者の声を聞きたいが、各組織の会長や役員ばかり集めても毎回同じ意見ばかりになってしまうので、意見を吸い上げる方法も含めた見直しが行えればと考える。</p> <p>L 委員：まちづくり基本条例第7条にあるように住民全員が参加できるようにと記載されているが、今まで地域活動に参加してこなかった。しかし、南砺市が好きだから今回参加させてもらった。この会議の運営委員会、部会長など良く分からない部分もあった。また、地域でも小規模多機能自治や地域づくり協議会について良く理解していない人が多いため、理解が推進される対策も必要だと思う。</p> <p>F 委員：山野地区問題解決円卓会議を10月から始めた。青年会、壮年会から新しい意見を聞く事ができた。それを地域づくり協議会でも予算付けして来年度実施していく予定である。また、人材リストの回答状況を見ると地域に関わりたくない人が多いと感じた。地域には、吸い上げることが出来ていない意見が多くあると思うので、意見を聞き、それを活動に移すことが南砺市、富山県西部、富山県等に寄与するのではないかと思う。</p>
8 その他	<p>事務局：○運営委員会について</p> <p>運営委員会とは、推進会議の中に運営委員会を設置し、会議の準備を行います。（推進会議での協議内容、部会（案）の検討等）。事務局は南砺で暮らしません課が行います。運営委員になっていただける方は今週中に事務局までご連絡ください。→報告期限を今月中に変更。</p>

	<p>○会議参加への謝礼について説明</p> <p>参加された方に4000円お支払いします。市に口座登録がある方はその口座に入金します。口座内容を知りたい方は事務局までご連絡ください。</p>
9 閉会	<p>副委員長が挨拶し、会議を閉じる。</p> <p style="text-align: right;">終了21時10分</p>